



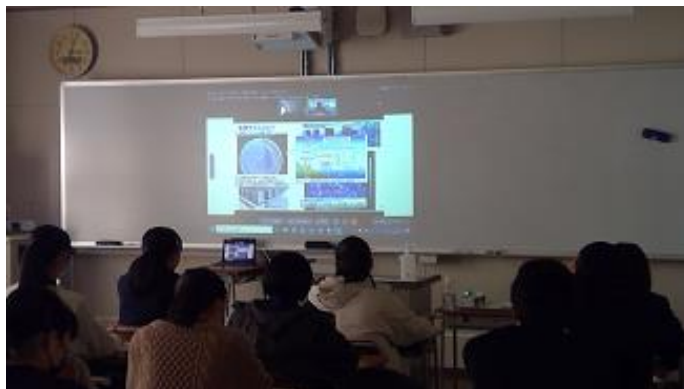
令和3年度

多北高 FRH 通信 第08号

令和3年12月7日(火)
多北高 FRH 推進委員会
探究推進部

EDR II (高大連携事業)

令和3年11月16日(火)に、2年生を対象とした高大連携事業、EDR(Exploration Day with Researchers) IIを実施しました。7人の名古屋大学の研究者の方々に講師を依頼して、各先生方の研究室と2年生の各教室をオンラインで結び、生徒は自分で選択した2つの講義を受講しました。各講座で興味関心を高めるスライドを用意していただき、分かりやすい説明や生徒同士で話し合う時間を設けてくださる場面もあり、専門的な学問に触れ、大いに刺激を受けた様子でした。



講師の先生方の所属研究科一覧

- 人文学研究科
- 経済学研究科
- 法学研究科
- 多元数理科学研究科
- 工学研究科
- 生命農学研究科
- 環境学研究科



参加生徒の感想

<人文学>

皇太子としてまた天皇として、国民と寄り添うための方法を現上皇様が模索されていたことに驚いた。また、上皇様は皇太子時代に人気があったことも新たに知ることができた。

神格化されていた時代から一転し、人の子であり象徴とされた時代を生きてこれ、旧時代の天皇としての在り方から現在の在り方へと変えてこられた上皇様に、尊敬の念を抱いた。



<生命農学>

季節によって色が変わる動物がいるのは知っていたけど、色の見え方まで変わっていることに驚きました。ほかの動物も、どんな色の見え方が変化するか気になりました。色も生き物の営みに関わっていることがすごいと思いました。毎日なんとなく過ごしているけど、周りのことに目を向けるのも大切だと思いました。講義が面白くて1時間があっという間でした。ありがとうございました。

<全体を通して>

両講義とも難しく、自分の知らないことがほとんどだったので、新しい世界を知ることができてとても良い機会になりました。今回私が学んだことは、多角的に物事を考えることです。今まで一方向から物事を考えることが多く、一方向の状況しか知らないことが多かったので、これからは様々な方向から考えていきたいです。大学は自分の視野を広げてくれる場所であることも分かったので、頑張って勉強していきたいです。